2014.09.05　冨松

**CSSのborderプロパティ**

**＜CSSのborderの意味＞**

CSSではhtmlの全ての要素（タグ）は、右図のような「**ボックス**」と呼ばれる領域を持つと考えます。ボックスは内容（**content**）、ボーダー（**border**）、パディング（**padding**）、マージン（**margin**）から成ります。border値は指定しなければ初期値は「none」です。paddingとmarginの初期値はブラウザにより決まります。

htmlで表を作るには <table border="1"> のようにしてtableタグで作り、htmlでborderといえばこのtable（表）の外枠線のことです。これに対してCSSでいうborderはこれとは全く異なり、上図に示すように**要素の上･右･下･左の枠線**のことで、tableだけでなく全ての要素に存在すると考えます。

CSSには表を作成するという概念はなく、表の作成はtableでするしかありません。逆に、tableタグで作った表の外枠やセルの枠線は単純な線にしかなりませんので、これを思い通りにデザインするにはCSSが頼りです。

**＜border関連のプロパティ＞**

borderプロパティの例として、ヒストリバックの「Back」ボタンの「td.waku」セレクタを右図で説明します。

td.waku { border: 2px outset #FFCC99; }

border関連のプロパティには、この**borderプロパティ**の他に、機能別に**border-width、border-style、border-color**の3つのプロパティもあります。「td.waku」の設定例は、右図のように書いても同じことです。

td.waku {

border-width: 2px;

border-style: outset;

border-color: #FFCC99;

}

borderプロパティはこの3つのプロパティを一括指定する記法で、「td.waku」は3つとも一括指定しています。そして「2px outset #FFCC99」がそれぞれのプロパティの値です。

3つの機能別プロパティの初期値は、border-widthはmedium、border-styleはnone、border-colorはその要素の前景色（文字色）と規定されています。border-widthのmediumは予約語thin・medium・thickの1つです。border-styleのnoneは指定なしということです。

この3つのプロパティを記述する順序は自由で、必要のない指定は省略することができます。ただ、border-styleの指定を省略すると、その初期値はnoneですからborder（枠線）は表示されなくなってしまいます。また、**border-colorの指定を省略** したときのborder（枠線）の色は、文字色と同じになることを確認しておきましょう。

table.gakubuti {

background: #FFCC99 url(image/c.gif);

border: 5px solid;

border-color: #DEB887 #A0522D #8B4513 #DEB887;

}

参考までに、「gakubuti」の例を示します。「border-color」プロパティの値は左から「上･右･下･左」の時計回りになります。

**＜border-styleの値の種類＞**

border-styleは枠線の書式（線種）を指定するもので、枠線なし（none）、実線（solid）、点線（dotted）、破線（dashed）、二重線（double）、線が凹形（groove）、線が凸形（ridge）、内側が凹形（inset）、内側が凸形（outset）の9種類がありまます。

この9種類の**border-style**で、「Back」ボタンを作ってみました。border-styleの形状を分りやすくするために、border-widthを2pxと4pxの2種類で作ってみました。



**＜borderの上･右･下･左を個別に指定する＞**

borderプロパティは上･右･下･左の値を個別に指定することはできません。必要なら上･右･下･左の値を個別に指定するプロパティが用意されています。**border-top**（上）、**border-right**（右）、**border-bottom**（下）、**border-left**（左）の4つです。指定方法はborderプロパティと同じなので解説は割愛します。

枚方HPのトップページと南支部・北支部だよりのメニューは、CSSのborderを多用しています。右図は枚方HPトップページのメニューの一部分で、メニューをマウスでホバーした図です。

右下図はそのCSSの一部分です。内容を簡単に説明します。

メニューのリンク部分は「#side #menu a」で設定しています。「border-left: 5px solid #003D0E」は、メニュー左側のアクセント用ラインで、幅5px、線種solid、色は #003D0E（暗緑色）という意味です。アンダーラインは「border-bottom: 1px dotted #FFFFFF」で示し、dottedは線種が点線ということです。

マウスでホバー時の設定は「#side #menu a:hover」でしています。そのときのメニューの背景色を #0074BE（水色）、左側のアクセント用ラインを #FFD700（黄）にしています。

＜hiratop.cssメニューの一部分＞

#side #menu a {

 width :183px;

 color: #FFFFFF; /\*文字の色は白色\*/

 text-decoration: none;

 **border-left**: 5px solid #003D0E;/\*左ラインは暗緑色\*/

 **border-bottom**: 1px dotted #FFFFFF; /\*下線は白色\*/

 padding-left: 5px;

 display: block;

}

#side #menu a:hover {

 background: #0074BE; /\*背景色は水色\*/

 **border-left**: 5px solid #FFD700;/\*左ラインは黄色\*/

}

なお、「display: block;」は項目の背景をブロック要素にして、背景すべての部分にリンクが張られた状態にします。文字メニューを作るときの常套手段です。

以上